

## 出土木製品の世界

遺跡から出土するものには、土器や石器以外に木製品があります。出土木製品には非常に精巧に作られたものがあり、これらは当時の製作技術の高さを示しているとともにその役割にも特別なものがあつたと考えられます。今回は、特に弥生時代と古墳時代の木製品を中心にした種類や製作技術の概要とともに、最近の県内の出土状況についても紹介します。

### 1 木製品の出土について

非常に水分が多いところあるいは非常に乾燥したところから出土する縄文時代以降に出土するが、最も多彩で量が多いのが弥生～古墳時代

### 2 木製品の特質

最初に作られたものから転用されることが多い ※最後は燃料に  
地中で腐朽し消滅する ※土器や石器とは異なる特質  
木製品そのもので年代測定が可能 ※限界の認識必要  
放射性炭素年代測定法、年輪年代法、酸素同位体比年輪年代法

### 3 木製品の樹種

弥生時代には現在と同じような使用目的に合った用材が確立していたとされる  
農耕具 カシ類、容器 ケヤキ・サクラ・クスノキなど が多い  
日本書紀の記述……ヒノキ、スギ、クスノキ、コウヤマキの用途  
顕微鏡による樹種同定の意義……用途不明木器の用途の推定、材木の産地

### 4 木製品の製作方法による分類

くりもの ひきもの さしもの まげもの ゆいもの  
刳物、挽物、指物、曲物、結物

### 5 木取り

まさめ いため おいまさ しんもち  
桁目、板目、追桁、芯持、横木取り、縦木取り  
木製品の時期差や用途の違いを示す場合がある

### 6 木製品の製作工程

- (1) 原木の伐採 道具：石斧、鉄斧
- (2) 玉切り（造材） 道具：石斧、鉄斧
- (3) 割材 道具：くさび、<sup>かけや</sup>掛矢 ※15 世紀以前は割り製材  
ミカン割り、年輪界での分割
- (4) 加工・仕上げ 道具：石器、鉄器 ※特徴的な連作手法

## 7 未製品の出土

製作途中の木製品（未製品）が出土する ※製作工程が分かる

理由 水につけて材のねじれ等に対応、水の中で乾かす！

石斧では乾燥させた材は加工が困難

弥生時代後期以降に未製品が減るのは、鉄器によって一気に加工できるようになったため？

## 8 木製品の種類

下記一覧表 多様な器種がある

多様な木器の中には、いわゆる首長層に関わる精製木製品もある

## 9 用途推定の困難さ

部材を組み合わせて作る木製品は、部材だけでは器種認定は困難

## 10 最近の成果より

四方転びの箱

丸亀市岸の上遺跡出土の<sup>もっかん</sup>木簡、<sup>しよつき</sup>織機部材

## 木製品の器種

主な分類	代表的な器種
工具	斧柄、くさび、槌
農耕土木具	鍬、鋤、掘り棒、犁、鎌、杵、臼、田下駄
編み具・紡織具	編台、紡錘車、機織部材
運搬具	船、背負子
漁労具	網杵
武器・武具・馬具	弓、矢、剣、刀、甲、鞍、鐙
服飾具	履物、櫛、髪飾り
容器	椀、皿、鉢、壺、高杯、槽、盤、箱、蓋、桶、樽、ジョッキ、合子
調理加工具	杓子
食事具	箸、匙
調度	机、腰掛
祭祀具	形代
威儀具	儀杖
楽器	琴
建築部材	柱、扉、梯子、鼠返し、礎板
施設材・器具材	井戸、堰材
土木材	杭、矢板
埋葬具・葬具	棺材